

水辺に広場を— 目黒川を親しめる川に



本村橋付近(五反田大橋から上流)

総合環境整備計画
まとまる

目黒川総合環境整備計画(要旨)

品川、目黒、世田谷の三区にまたがる流域を持つ目黒川は、近年、流域全般にわたる都市化の進展、生活活動の拡大で、河川環境が大きく変化し、典型的な都市中小河川としての数多くの課題を抱えています。

昭和五十一年二月二十日、目黒川浄化促進のため、目黒川流域の品川、目黒、世田谷の三区で結成した「目黒川浄化対策三区連合」では、昨年八月、目黒川浄化の具体的対策について、専門機関に調査依頼していましたが、このたび「目黒川総合環境整備計画」がまとまりましたので、その要旨などをお知らせします。

目黒川の現状

目黒川の現状の問題としては、上流部の平常流量の減少、上流・中流部での水質悪化、中流部でのヘドロの増大と浸水被害の発生、河川環境の悪化の五項目が挙げられ、目黒川の環境対策について、主として親水流量、水質の三視点から調査が行わ

目黒川

目黒川は、品川区の北部を東西に流れる二級河川(全長八キロ)で、その水系は目黒川のほか、蛇崩川、北沢川、烏山川からなり、流域は三鷹市から、杉並、世田谷、渋谷、目黒、品川の各区を含み、流域面積は四十五・八平方キロ、流路延長は二十キロ以上に及んでいます。

れ、この整備計画がまとめられています。

重要課題

この計画では、流域住民の生活のよりどころであった目黒川を生き返らせ、沿川地域と一体となった総合環境整備をすることが緊急で重要な課題として位置づけられています。

基本的方向

目黒川環境対策の基本的方向としては、憩いのある河川環境の整備と河川への接近性の確保があげられ、目黒川流域の総合整備、多様な施策の総合的展開、施設の合理的運用と流域住民との一体的推進が必要とされています。

具体的施策

具体的施策の検討に当たっては、重要課題や基本的方向で述べた視点に立って、考えられるすべての対策を取り上げ、効果、治水との競合、用地、費用、維持管理の難易性などによりチェックし、実現性についての評価を行い、次の施策が提案されています。

直ちに行うべき施策

- ① 汚濁した目黒川の水をポンプ施設などで強制排除する
- ② 新開地、船入場、蛇崩川合流点に水辺に降りられる護岸や水の広場などの小規模拠点を整備する
- ③ 現在行っている護岸改修工事に伴う橋のかけ替えに合わせ、橋の修景を図る

河川改修計画・下水道整備計画と

- ① 下水道を全流域に普及させる
- ② 上流部の急こう配部に水をたためる区間を設け、広い水面を確保する
- ③ 現在計画の中野下

水処理場などから下水処理水を導入する

- ④ 工業試験所跡地、荏原市場跡地、河口部埋立地を利用して公園や広場などを設ける
- ⑤ 雨水の吐口付近に初期雨水貯留池を設ける

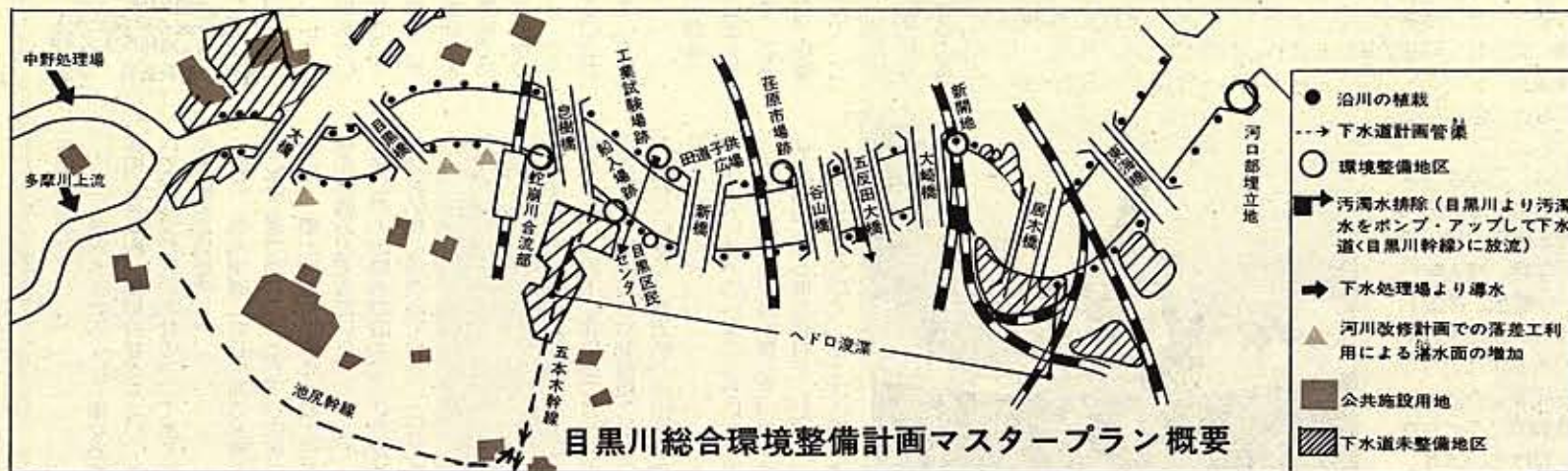
長期的課題、治水・下水道事業との協同事業

- ① 浸透性舗装、浸透マス、透水レンガなどを整備し、地下水をかん養する
- ② 洪水時のいつ水防止のための雨水貯留池を設ける
- ③ 目黒川筋に計画されている池尻幹線などを建設し、雨天時の汚濁負荷の軽減を図る

日常的施策

- ① 記念植樹、花壇づくりなど河川沿いの植栽を図る
- ② 河川にゴミや空き缶などを捨てず、また捨てたものは拾って始末する
- ③ 継続的なしゅんせつなどでヘドロを除去する
- ④ 工場不良排水について、監視の強化、行政指導などを行い、その防止に努める
- ⑤ 沿川住民に対し、河川の本質や機能の啓蒙を行うとともに、川を愛し、大切にするという精神的風土の形成に努める

以上が、「目黒川総合環境整備計画」の要旨などですが、この計画を実現するための課題として、実施に



目黒川総合環境整備計画マスタープラン概要

当たつての細部における技術的検討と関係機関との調整、財源の確保、官民一体となった実現体制の確立、よりよい対策を見出すための環境改善への不断の努力が挙げられています。問い合わせ 都市整備本部へ

目黒川浄化対策三区連合

目黒川浄化対策三区連合は、目黒川を浄化し、住民の生活環境、自然環境の向上・改善を図るため、流域の品川、目黒、世田谷の三区で結成されたもので、相互の協力で、目黒川浄化のための施策の早期達成を期することを目的としています。

目黒川浄化等計画調査委員会

目黒川浄化対策三区連合では、目黒川浄化の具体的施策を調査するため、専門機関(社団法人・日本河川協会)に専門家による調査委員会を設け調査研究することを依頼しました。

専門機関では、今年の一月二十五日、「目黒川浄化等計画調査委員会」(委員長 市川 新氏、東京大学助教授)を発足させ、五回の委員会、現地視察、住民との意見交換などを行い、調査研究の成果を「目黒川総合環境整備計画」としてまとめました。



調査報告書を受け取る多賀品川区長(左側)—11月1日

